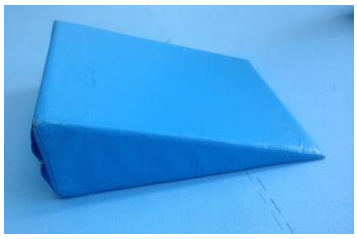
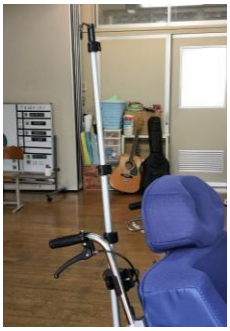
教材・教具の紹介（市販されているもの）

１　健康の保持

名 称 及び 写 真	ねらい	使い方・アピールポイント等
日よけ	・日焼け、眩しさを防ぎます。	・座位保持装置や車椅子に装着して使用します。色々なタイプがあるのですが、このタイプは柄がフレキシブルに動くので色々な角度に調整ができます。
三角マット 	・腹臥位や背臥位、側臥位等のポジショニングを行うときに使用します。 ・傾斜をつけることができます。	・必要に応じて必要な箇所に敷くことで、ポジショニングを行いやすくします。本校では主に、腹臥位や座位をとる際に使用しています。
車椅子用点滴ポール 	・主に座位保持装置や車椅子に座った状態で、栄養剤や水分を注入する時に使用します。	・座位保持装置や車椅子のフレームに装着して使用します。これがあると座位（上体を起こした状態）で栄養や水分摂取が可能になります。
パルスオキシメーター	・サチュレーション（SpO_2）を測定します。	・指に挟むことにより、サチュレーション（SpO_2）の値を測定できます。呼吸状態を視覚化できます。
聴診器 写真提供：スリーエムジャパン株式会社	・本校では、主に呼吸音を聞きとります。分泌物の有無や存在する場所を知るために使用します。	・基本的には大きな面の方を胸に当て、呼吸音を聞きとります。

２　心理的な安定

名 称 及び 写 真	ねらい	使い方・アピールポイント等
タイムタイマー	・視覚的に時間の経過を理解でき、音により時間の感覚を身につけることができます。	・時間を設定すると、残りの時間が赤く示さるので、見通しを持ちやすくなり、時間を有効に効率よく使うことができます。

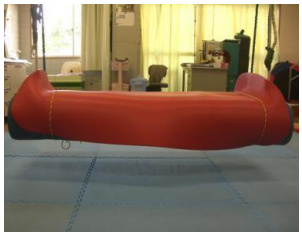
３　人間関係の形成

名 称 及び 写 真	ねらい	使い方・アピールポイント等
ＳＳＴボードゲーム なかよしチャレンジ	・すごろくゲームを通じて楽しく学習する中で、ＳＳＴ（ソーシャルスキルトレーニング）の力を高めていきます。	・身近な学校、地域等の場面に分かれ、「ストレスマネージメント」「助けを求める」「アサーション」「対立解消」等スキルを学習します。
絵あわせ	・集中してものを見る力や短期記憶の向上、簡単なルールを守り相手と仲良く取り組む力を高めていきます。	・９マスの神経衰弱で、ふたを数えることで勝敗がわかりやすく、感情の学習等も行えます。
ことばと発達の学習室Ｍ 著：ソーシャルスキルトレーニング絵カード 状況の認知絵カード１（株式会社エスコアール）	・絵に描かれた状況や人物の感情、言葉のやりとり等について考えることで、自分自身のことを振り返り適切な言葉や態度を学習します。	・身近に起きそうな状況が設定され、絵や言葉を手がかりに状況把握や自分と相手の気持ち等を考えることができます。

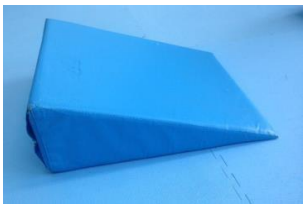
五色ソーシャルスキルかるた	・繰り返し札を読んだり取ったりすることで、日常生活で必要な基本的スキルを学んでいきます。	・学校生活、学習規律、挨拶、社会生活、対人関係の５つのカテゴリーに分かれたＳＳＴかるたです。
おとあわせおはなしカルタ	・言葉とイメージが繋がりにくく、文で話すことが苦手な子どもが楽しく学習を行う中で、表現力を高めていきます。	・「びりびり」等音や様子を表したかるたです。「びりびり紙を破る」等文を作る学習や複数の絵を並べて物語を作る学習もできます。

４　環境の把握

名 称 及び 写 真	ねらい	使い方・アピールポイント等
スペースリング	・揺れや回転による前庭刺激、姿勢保持のための固有覚刺激を与えられます。	・中に入って宇宙船に乗り込んだ気分で揺れてみたり、二人で向かい合わせに乗ったりと立体空間を自由に使って楽しみます。
プラットホームスイング	・前庭覚や固有覚、視覚の感覚入力によって平衡反応が引き起こされます。	・腹臥位、背臥位、四つ這い位、座位、立位等で姿勢の変換を行い、色々な姿勢で揺れや移動、回転を楽しむことができます。
フレキサースイング	・触覚刺激、固有覚刺激、前庭覚刺激を受けることができます。抱きつくことにより関節を固定する力を高めます。	・筋緊張が低下し、腕・体幹・足等全身がしっかりしていない子どもに有効です。

ホーススイング 	・触覚、前庭覚、固有覚の統合を図り、姿勢や平衡反応の発達が促されます。	・バランスを取りながら姿勢を保ち、揺れを楽しみます。二つをつないで活用すると座位姿勢が取れない方も楽しめます。
防音保護具 （イヤーマフ）	・防音ができます。 （苦手な音を遮ることができます。）	・耳のまわりにフィットするように装着します。

５　身体の動き

名 称 及び 写 真	ねらい	使い方・アピールポイント等
Posture control-walker(PCW)	・安定した直立姿勢を保ちやすく、自然な歩行姿勢を促します。	・身体の真横に支持バーがあるため、体重が前方にかたよることなく体幹の伸展が得られ、 肩甲骨や上肢の位置も改善されます。体幹の前傾や下肢の屈曲等を防止します。
Spontaneous reaction control-walker(SRC-Walker)	・立位が取れない人でも歩くことができます。	・上体が不安定な人でも、サドルと体幹パッドでホールドする事によって安定した前傾姿勢がとれます。
おもり	・筋力強化に使います。	・足首や手首に巻き付けて、上肢・下肢・腹筋・背筋の軽い抵抗運動を行う際に用います。
三角マット 	・腹臥位や背臥位、側臥位等のポジショニングを行ときに使用します。	・必要に応じて必要な箇所に敷くことで、ポジショニングを行いやすくします。

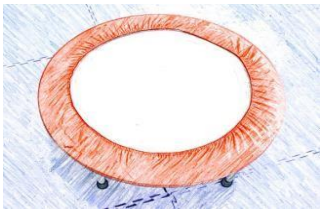
ハートリーフクッション	・姿勢を改善することができます。	・座位保持能力を調整するクッションです。このクッションに座ることで、座骨を中心に殿部、大腿部からの感覚情報が姿勢を調節する脳機能を促進する結果、自発的に骨盤を起こし脊柱を伸ばす筋肉の作用を活性化します。
グリーンベルト	・座位等をとる時に姿勢保持が不安定な場合に使用します。	・必要に応じて必要な場所に巻きます。
バランスボールチェア	・椅子に座るだけでバランストレーニングが自然に行うことができ、よい姿勢で座ることができます。	・安定感があり、バランス感覚や体幹筋を鍛えることができます。
昇降式テーブル	・高さの調節ができるテーブルです。	・無段階に高さ調節ができ、ベッド上でも使用できます。
e−コレ	・姿勢保持の支援に使用します。	・ビーズの入ったクッションで、中の空気を抜くことで様々な形に固めることができます。
滑り止めシート	・物や人が滑らないように滑り止めシートを使用します。	・色々なタイプの滑り止めシートがありますが、この写真の滑り止めシートはでこぼこしていないので、この上に紙を置き、スムーズにペンで書くことができます。またベタベタしていないので使いやすいです。

６　コミュニケーション

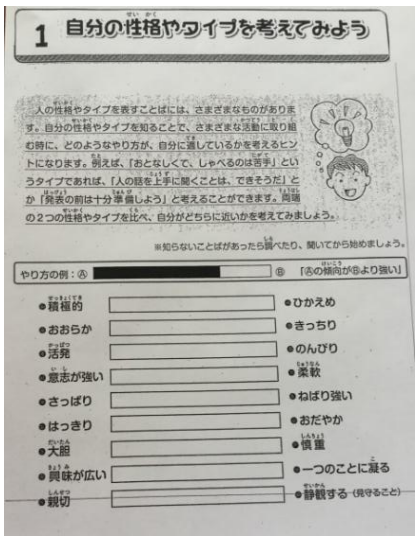
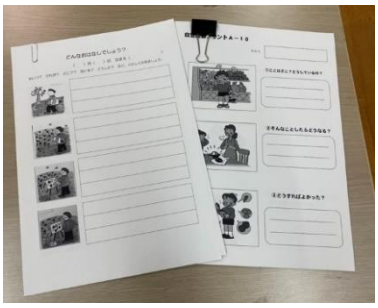
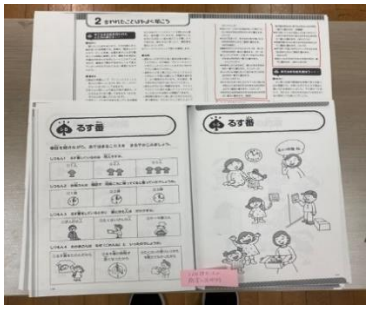
名 称 及び 写 真	ねらい	使い方・アピールポイント等
Quick Talker	・話すことが難しい子どもが、要求やあいさつ等コミュニケーション能力を高め拡げることをねらいとしています。	・３つのメッセージと９つのメッセージを５パターン録音･再生できます。
SUPER talker	・話すことが難しい子どもが、要求やあいさつ等コミュニケーション能力を高め拡げることをねらいとしています。	・メッセージは８通りまで録音可能で、８キー録音・再生ができます。キー数は１、２、４、８キー選択できます。
ラーニングバーバル	・話すことが難しい子どもが、要求やあいさつ等コミュニケーション能力を高め拡げることをねらいとしています。	・３つのメッセージを録音・再生できます。 スイッチの大きさは１つ１０×１５㎝くらいの大きさで、押す力が小さくても操作できます。
絵カード 鈴木出版	・言葉の発音練習や語想起の練習、カードを並べて二語文の練習等を目的に使用しています。	・身の回りのものや食べ物、台所製品、動物、動きのことばや生活のことば等身近な言葉の絵カードです。
食べ物や食器のおもちゃ	・食べ物や食器等身近な物の名前を覚え、発音する練習やマカトンサインと併せて相手とやりとりする練習等に使用しています。	・ままごと等大人とのやりとりを通じ、物の名前や要求を伝える方法を覚えていきます。 （左の写真はダイソー製です。現在取り扱っていないものもあるそうです）
ボイスルーラー	・声量のコントロールが苦手な子どもが、ＬＥＤの色（赤・緑・青）を手がかりに自身の声の大きさを調整する力を高めていきます。	・声の大きさが大きすぎる子や逆に小さすぎる子がいるので、緑の声の大きさ（中くらい）を目指して練習します。

まねっこおさる	・発声を促します。	・どんな声もまねしてみせます！
手遊び歌の振り　絵本 笠野裕一（著）福音館書店	・楽しく活動に向かうようにします。	・「おひさまぽかぽか」は動物達のあくびやおばあさんののび等、一緒に動作をしながら楽しく読みます。「あじのひらき」の手遊びは子どもに応じて振りを簡単にします。歌が終わりの方になるとラストの「ドカーン」を期待して笑い声が出ています。

環境の把握・身体の動き

バランストレーニング	・動かしたり、回転させたりすることで、バランス能力の向上を目指します。 ・左右、前後、回転性の複合した前庭刺激を得ることができます。	・立位や座位、背臥位等の姿勢で乗って動かします。 ・ゆっくりとした揺れに慣れることから始めます。
バルーン	・バランス能力の向上等に用います。 ・固有覚、前庭覚、触覚へ刺激が入力されます。 ・重力不安の改善にも役立ちます。	・座位、腹臥位、背臥位等で揺れ、跳躍を行います。腹臥位で急激な加速刺激を与えると保護伸展反応が引き出されやすくなります。 ・腹臥位で乗って前後に動かしてもらったり、背臥位で力を抜いた姿勢でゆっくり動かしてもらったり、座位で乗ってバランスをとる練習や腹筋運動に使います。
ミニトランポリン 	・跳躍しながらボールのやりとり等を行うことで視覚、前庭覚、固有覚、触覚の統合を促します。	・跳躍により感覚統合のベースである前庭刺激が適正に受容できます。

心理的な安定・人間関係の形成

名 称 及び 写 真	ねらい	使い方・アピールポイント等
自分の性格やタイプを考えてみよう 「かもがわ出版」  1 自分の性格やタイプを考えてみよう 人の性格やタイプを表すことばには、さまざまなものがあります。自分の性格やタイプを知ることで、さまざまな活動に取り組む時に、どのようなやり方が、自分に適しているかを考えるヒントになります。例えば、「おとなしくて、しゃべるのは苦手」というタイプであれば、「人の話を上手に聞くことは、できそうだ」とか「発表の前は十分準備しよう」と考えることができます。両端の２つの性格やタイプを比べ、自分がどちらに近いかを考えてみましょう。 ※知らないことばがあったら調べたり、聞いてから始めましょう。 やり方の例：Ⓐ ■■■■■■■■ Ⓑ 「Ⓐの傾向がⒷより強い」 ●積極的 ［　　］ ●ひかえめ ●おおらか ［　　］ ●きっちり ●活発 ［　　］ ●のんびり ●意志が強い ［　　］ ●柔軟 ●さっぱり ［　　］ ●ねばり強い ●はっきり ［　　］ ●おだやか ●大胆 ［　　］ ●慎重 ●興味が広い ［　　］ ●一つのことに凝る ●親切 ［　　］ ●静観する（見守ること）	・ワークシート①②に取り組み、自分自身の性格やタイプを捉えることにより自己理解を深め、ワークシート③に取り組むことで自分の性格やタイプを活かして「できること」または「対策しておけること」について具体的に考え、それを日常的に活かしていくことで心理的な安定を図っていけるようにします。	・個々の生徒に対しての面接をこまめに行い多くの「悩み」を聞き取ってきた。情緒不安定になることから現れる日頃の行動や悩みをよりよい方向に改善していければと、本教材を設定し自立活動の時間に取り組みました。まず、生徒に自身の性格やタイプについて捉えやすいよう、生徒たちが日頃聞きなれたことばで性格・タイプを表現してあるワークシートを用意した。その後「自分の性格やタイプを活かしてどのようなことができるのか」や、一見短所に思われる項目に関しても「具体的に対策しておけること」や、「別の視点から捉えると良い方に活かしていけないか（リフレーミング）」考える等、具体的に日常生活場面での行動に活かしていけるように工夫して、生徒自身の自己肯定を高められるよう授業・教材を設定しました。
ソーシャルスキルトレーニング 	・整理して相手にわかりやすく説明する力、ワーキングメモリーの基礎を育てる。 ・他者の気持ちを理解したり、状況判断が難しい生徒に対してイラストを示して考える力をつけることをねらっています。	・プリントにしているので一人でじっくり考えて取り組むことをねらう生徒には向いています。それぞれ取り組んだことを発表し合うこともできます。
聞き取りワークシート かもがわ出版 	・整理して相手にわかりやすく説明する力、ワーキングメモリーの基礎を育てる。 ・他者の気持ちを理解したり、状況判断が難しい生徒に対してイラストを示して考える力をつけることをねらっています。	・プリントにしているので一人でじっくり考えて取り組むことをねらう生徒には向いています。それぞれ取り組んだことを発表し合うこともできます。